

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	発達支援室長 田中 香織		
こども-33	実施事業	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	発達支援室
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	障害福祉課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	障害児等
意図	障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 平成29年度に実施した事業の概要

障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。
-------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	人 口	176,869人	176,466人	176,466人	人 口	176,308人	176,308人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,928世帯	81,150世帯	81,150世帯	世 帯 数	81,763世帯	81,763世帯	
	事業の対象者数	3,167人	3,107人	3,107人	事業の対象者数	6,394人	6,394人	
運営資源状況	決算値(千円)	364	523	523	当初予算(千円)	1,369	1,369	
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	364	523	523	その他	1,369	1,369	
	一般財源	0	0	0	一般財源	0	0	
	人員配置数	0.1	0.2	0.2	人員配置数	0.2	0.2	
事業経費運営	人件費(千円)	767	1,562	1,562	人件費(千円)	1,551	1,551	
	総事業費(千円)	1,131	2,085	2,085	総事業費(千円)	2,920	2,920	
	市民1人当りの経費(円)	6	12	12	市民1人当りの経費(円)	17	17	
	対象者1人当りの経費(円)	357	671	671	対象者1人当りの経費(円)	457	457	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー (社福) ほしづきの里

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	現在の障害児活動支援センターの運営方法を平成30年3月31日の指定管理期間の終了に伴い、施設の賃貸による民間事業者による運営とする。 また、平成29年度に完成した由比ガ浜こどもセンターを障害児通所支援施設に賃貸する。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現在の障害児活動支援センターの光熱水費のほか、平成29年度に完成した由比ガ浜こどもセンターで行う予定の障害児通所支援施設の光熱水費分について、予算規模を拡大する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業は円滑に実施できた。 事業者が障害児活動支援センターの施設管理を包括的に行っていき、及び施設使用料(光熱水費)を継続して事業者の負担とする。 また、平成29年度に完成した由比ガ浜こどもセンターの3階部分を賃貸で行う予定の障害児通所支援施設の光熱水費も、事業者の負担を予定している。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・医療的なケアを必要とする重度心身障害児の受け入れについては引き続き課題であるが、事業者の選定の中で考慮していく。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・平成29年度に完成した由比ガ浜こどもセンターの3階部分で、障害児通所支援施設(児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・障害児相談支援事業)を賃貸で行うようにした。なお、医療的なケアを必要とする重度心身障害児の受け入れを行う事業者に賃貸しを行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・医療的なケアを必要とする児童の受け入れ状況については、今後も推移を見ていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	障害児放課後等デイサービス事業所数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市		
他市実績	13	42	18	22	16	37	3		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口規模によるばらつきはあるものの、各市とも放課後等デイサービス事業者数は増加しており、利用者のニーズが高い事業である。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の凶容	年間利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	・年間利用者数 H29年度・3107人 H28年度・3167人 H27年度・3,247人、 H26年度・3,269人、 H25年度・3,104人、
利用者のニーズを把握するため(平成30年度からは2事業者で行うため目標値は1事業者値(3,197人)を2倍した。	目標値	-	3,269	3,207	3,227	6,394		
	実績値	3,269	3,247	3,167	3,107			
	達成率	-	99.3%	98.8%	96.3%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	放課後等デイサービス事業を行う事業所の数は、年々増えているにもかかわらず、実績値が横ばいということはニーズは増加していると考ええる。 なお、指標としている「年間利用者数」は、行っている事業が法内事業であり、県から指定を「定員10人/日」として受けているため、あまり増減がないことが指定管理者の事業運営が安定化するものと考ええる。
-----------------------	---